

祝!!! SBC初勝利

某MS 3 | 6 SBC

平成26年10月20日、東邦スタジアムにて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某MSとの試合があった。
SBCは1点ビハインドで迎えた6回裏、打者一巡の猛攻で4点を奪い、一挙に逆転した。最終回（7回表）を石神が0点で抑え、見事、SBC初勝利を手にした。

2試合連続 投打での活躍 床島

またこの男の記事を書かねばならない。そう床島だ。今回の試合では、投手に専念するため打順を9番にした。だが、「持っている男には打順なんて関係ない」と言わんばかりに、なぜかチャンスで回ってくる。第1打席ではランナー2、3塁の場面で、第3打席は満塁で回ってきたのだ。そして、しっかりと結果を残すのである。打っては3打点、投げては今季最長の5回を投げ切った。
「持っている男はやはり違う」としか、言いようが無い結果である。

いぶし銀の活躍 日高

前文で、床島の第1打席はランナー2、3塁で回ってきたと紹介したが、そのチャンスをお膳立てした者がいる。その名は日高だ。
ランナー1、2塁の場面で第1打席を迎えた。監督からのサインはバント。そのサインにしっかりと応え、絶妙な送りバントを決めた。
また、守備でも、ショートからの難しい送球を体で受け止めアウトにする等、決して目立つプレーでは無いが、この1つ1つが今回の勝利に結びついたと言っても過言では無いだろう。

ミスはバットで取り返す 八木・田岡

野球では、エラーは付き物だ。さらに、それを打撃で取り返し、ミスを帳消しにすることが野球の醍醐味だ。

この言葉通りの活躍を見せたのは、八木と田岡だ。2回の表に失点に絡むエラーをしてしまったものの、続く2回の裏、田岡は自慢の足を活かし内野安打、そして八木はセンター前へクリンヒットを放った。そして、前文の日高や床島の活躍に続くのである。

自分のミスは自分から取り返し、そして、チーム全体でも取り返す。これぞチームプレーと言えるのではないだろうか。

今回の試合は初めてのことばかりでした。初勝利もそうですが、ソフトテックスのユニフォームが揃った試合も初めてでしたし、大勢の方の応援がある中での試合も初めてでした。何名か緊張？でガチガチになっていた者もいましたが、何とか勝利できたのも応援に来て頂いた皆様のおかげだと思っております。ありがとうございました。次回の試合は、11月を予定しています。これからも応援宜しくお願い致します。

【インタビュコーナー！】

応援に来て頂いた方に感想を頂いております。

Nさん「普段、見れない社員の一面やチーム全体が声を出し合いチームプレーをしている様子を見て、見に来て良かったです。」

Mさん「初勝利、おめでとうございます。」

珍プレー、好プレーがあり見ている面白かったです。近くで試合があれば是非また見に来たい。」

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球
1	二	西田宏伸	4	1	1	1
2	中	外林良規	4	0	1	1
3	捕	河野章吾	4	1	0	0
4	遊	石神良梧	3	0	0	0
5	左	田岡和也	3	1	0	0
6	三	八木健	3	1	1	0
7	一	日高直人	2	0	0	0
8	右	西田悠一	1	0	0	0
9	投	床島信二	3	1	3	1
		木原伸治	1	0	0	1
		河野哲二	2	1	0	0

【試合結果】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
某MS	0	1	0	0	2	0	0	3
SBC	0	2	0	0	0	4	0	6

【投手成績】

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	5	1	3
石神	2	1	0

(勝利投手)



【☆マネージャー募集中☆】

○仕事内容

試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載

*野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。

(記者: 西田宏伸)

【第4回 SBC速報】